



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場会社名 川崎化成工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4117 URL http://www.kk-chem.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中川 淳一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大坪 孝幸 (TEL) 044-540-0110
 経営管理部門長
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	6,704	△21.6	△79	—	△35	—	△45	—
28年3月期第2四半期	8,553	△14.8	65	△37.6	107	△27.1	48	△55.4

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 23百万円(—%) 28年3月期第2四半期 △8百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△1.18	—
28年3月期第2四半期	1.24	—

(注) 28年3月期第2四半期の経常利益は、表示方法の変更に伴い遡及修正を行っております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	18,458	13,604	73.7
28年3月期	20,096	13,697	68.2

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 13,604百万円 28年3月期 13,697百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
29年3月期	—	0.00			
29年3月期(予想)			—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,900	△11.0	40	30.3	135	4.2	95	△21.7	2.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	41,207,730株	28年3月期	41,207,730株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	2,517,241株	28年3月期	2,512,832株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	38,693,650株	28年3月期2Q	38,703,813株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、雇用・所得環境の改善等により景気は緩やかな回復基調が続いているものの、中国を始めとするアジア新興国や資源国等の景気減速及び英国のEU離脱問題等による海外経済の不確実性の高まり、円高の進行を受けた企業収益の下振れ等、先行き不透明感が増しております。

このような状況下、当社グループは新たな中期経営計画を4月からスタートさせ、収益力の高い「機能化学品の川崎化成」の確立を目指し、生・販・研が一体となって汎用化学品事業の基盤強化と機能化学品事業の拡大に向けた事業活動に取り組むと共に、新中期経営計画の実現を支えるエア・ウォーターグループとのシナジー効果の発現についても、グループ各社との連携により着実に成果を積み重ねております。

当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高の大部分を占める化学品事業において、原油価格及び為替の影響により石油系製品の製品価格が下落したこと並びに可塑剤及びナフトキノン等の販売数量が減少したことにより、売上高は6,704百万円（前年同期比1,849百万円減収・21.6%減）となりました。

損益面では、原油価格の下落及び円高に伴うコストダウン並びに固定費削減等の効果はあったものの、主に前年同期に販売が集中したナフトキノン等の販売数量の減少及び無水フタル酸の販売時期ずれや設備トラブルに伴う減産の影響により、営業損益は79百万円の営業損失（前年同期は65百万円の営業利益）、経常損益は35百万円の経常損失（前年同期は107百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損益は45百万円の四半期純損失（前年同期は48百万円の四半期純利益）となりました。なお、通期では特にキノン系製品及びマキシモールに代表される機能化学品の販売数量の増加が寄与し、損益面では前期を若干上回る見通しであり、当社が目指す「機能化学品の川崎化成」の確立に向けた取り組みについては順調に進展しております。

これを事業別に見ますと次のとおりであります。

① 化学品事業

・ 有機酸製品

無水フタル酸は、輸出の減少及び原料価格の下落に応じた価格対応により大幅な減収となりましたが、販売時期ずれによる減収は下期に回復する見込みであります。

その他の有機酸につきましては、コハク酸及びフマル酸は販売数量の減少及び原料価格の下落に応じた価格対応により減収となりましたが、生産効率の改善により増益となりました。

・ 有機酸系誘導品

有機酸系誘導品につきましては、可塑剤は数量の減少及び原料価格の下落に応じた価格対応により大幅な減収となりました。マキシモール[®]は、原料価格の下落に応じた価格対応を行いました。販売数量の増加により前年同期並の売上を維持しました。

・ キノン系製品

ナフトキノンは、販売が集中した前年同期に比べると大幅な減収となりましたが、通期では前年度を上回る見込みであります。農薬原体アセキノシルは、前年度は特需により販売数量が増加しましたが、当第2四半期は販売数量が平準化したため大幅な減収となりました。パルプ蒸解助剤SAQ[®]は、前年同期並の売上となりましたが、通期では前年度を上回る見込みであります。アントラキノンは、円高の影響を受け大幅な減収となりました。脱硫触媒NS[®]は、販売数量の増加により増収となりました。

以上の結果、化学品事業全体としての売上高は6,652百万円（前年同期比1,854百万円減収・21.8%減）、営業損益は85百万円の営業損失（前年同期は65百万円の営業利益）となりました。

② その他の事業

その他の事業につきましては、地域支援サービス事業の拡大により売上高は51百万円（前年同期比5百万円増収・11.5%増）、営業損益は5百万円の営業利益（前年同期は1百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は18,458百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,638百万円減少いたしました。

流動資産は、主に仕掛品は増加しましたが、有価証券及び短期貸付金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ1,494百万円減少し、8,146百万円となりました。

固定資産は、主に減価償却による有形固定資産の減少により、前連結会計年度末に比べ143百万円減少し、10,311百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は4,854百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,544百万円減少いたしました。

流動負債は、主に支払手形及び買掛金並びに未払金の減少により、前連結会計年度末に比べ767百万円減少し、2,776百万円となりました。

固定負債は、主に退職給付に係る負債の減少により、前連結会計年度末に比べ777百万円減少し、2,077百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は13,604百万円となり、前連結会計年度末に比べ93百万円減少いたしました。

株主資本は、主に配当金の支払により、前連結会計年度末に比べ162百万円減少し、10,054百万円となりました。

その他の包括利益累計額は、主に保有株式の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加により、前連結会計年度末に比べ68百万円増加し、3,550百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1,719百万円減少し、1,598百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は1,019百万円（前第2四半期連結累計期間比201.1%増）となりました。

収入の主な内訳は、減価償却費333百万円、定期修繕引当金の増加55百万円であり、支出の主な内訳は、退職給付に係る負債の減少726百万円、たな卸資産の増加248百万円、仕入債務の減少483百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は562百万円（前第2四半期連結累計期間比33.2%増）となりました。

主な支出は有形固定資産の取得による支出549百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は136百万円（前第2四半期連結累計期間比0.1%増）となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額114百万円、リース債務の返済による支出21百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、本年9月28日発表の業績予想値を下回る結果となりましたが、業績悪化要因は主にナフトキノンの販売時期ずれと在庫評価下げの影響によるものであります。

しかしながら、これらの悪化要因は、下期への販売時期ずれを含む機能化学品の増販により回復を見込んでおりますので、通期業績予想につきましては前回予想値からの修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	267	208
受取手形及び売掛金	3,910	3,875
有価証券	700	-
商品及び製品	1,796	1,887
仕掛品	114	363
原材料及び貯蔵品	379	288
短期貸付金	2,350	1,390
その他	121	133
流動資産合計	9,641	8,146
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,754	1,700
機械装置及び運搬具(純額)	1,845	1,604
土地	5,862	5,862
その他(純額)	167	265
有形固定資産合計	9,630	9,432
無形固定資産	78	57
投資その他の資産	747	821
固定資産合計	10,455	10,311
資産合計	20,096	18,458
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,097	1,613
未払法人税等	17	27
賞与引当金	173	172
修繕引当金	74	129
その他	1,179	832
流動負債合計	3,543	2,776
固定負債		
リース債務	38	32
再評価に係る繰延税金負債	1,464	1,464
繰延税金負債	152	172
役員退職慰労引当金	65	19
退職給付に係る負債	898	151
資産除去債務	235	237
固定負債合計	2,855	2,077
負債合計	6,398	4,854

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,282	6,282
資本剰余金	2,549	2,549
利益剰余金	1,788	1,627
自己株式	△404	△404
株主資本合計	10,216	10,054
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	302	351
土地再評価差額金	3,321	3,321
退職給付に係る調整累計額	△142	△123
その他の包括利益累計額合計	3,481	3,550
純資産合計	13,697	13,604
負債純資産合計	20,096	18,458

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	8,553	6,704
売上原価	7,458	5,753
売上総利益	1,095	950
販売費及び一般管理費	1,030	1,030
営業利益又は営業損失(△)	65	△79
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	13	13
固定資産賃貸料	27	27
その他	3	2
営業外収益合計	44	44
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	1	0
営業外費用合計	1	0
経常利益又は経常損失(△)	107	△35
特別損失		
固定資産除却損	20	8
特別損失合計	20	8
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	87	△43
法人税、住民税及び事業税	39	2
法人税等調整額	△0	△1
法人税等合計	38	1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	48	△45
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	48	△45

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	48	△45
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67	49
退職給付に係る調整額	10	19
その他の包括利益合計	△57	68
四半期包括利益	△8	23
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8	23
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整 前四半期純損失(△)	87	△43
減価償却費	319	333
受取保険金	△1	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2	△1
修繕引当金の増減額(△は減少)	103	55
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△21	△46
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△30	△726
受取利息及び受取配当金	△14	△14
支払利息	0	0
有形固定資産除却損	20	8
売上債権の増減額(△は増加)	△341	35
たな卸資産の増減額(△は増加)	△358	△248
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△8	△11
仕入債務の増減額(△は減少)	△205	△483
その他の流動負債の増減額(△は減少)	117	104
その他	9	6
小計	△327	△1,032
利息及び配当金の受取額	14	14
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△25	△1
保険金の受取額	1	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△338	△1,019
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△404	△549
有形固定資産の除却による支出	△17	△7
その他	△0	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△422	△562
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△115	△114
リース債務の返済による支出	△20	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△136	△136
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△897	△1,719
現金及び現金同等物の期首残高	3,223	3,317
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,325	1,598

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2
	化学品事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,507	46	8,553	—	8,553
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	54	54	△54	—
計	8,507	101	8,608	△54	8,553
セグメント利益又は損失(△)	65	△1	63	1	65

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額1百万円は、グループ内設備取引に係る未実現利益実現等によるものです。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2
	化学品事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,652	51	6,704	—	6,704
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	55	55	△55	—
計	6,652	107	6,759	△55	6,704
セグメント利益又は損失(△)	△85	5	△80	0	△79

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額0百万円は、グループ内設備取引に係る未実現利益実現等によるものです。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。